



の が き 野垣あきこ

子ども・暮らし・平和



2024年5月29日 No.187 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

区民のいのちと暮らしを守るために

深刻な猛暑への対策を 党区議団が区に緊急申し入れ



▲申し入れする党区議団(左から環境部長、岸本区長)

5月20日、日本共産党杉並区議団は、深刻な猛暑から区民のいのちと暮らしを守るための緊急対策について、岸本区長に申し入れを行いました。申し入れには環境部長が同席しました。

猛暑に備えて エアコンの購入費や電気代の補助を

昨年(2023年)6月から9月までの東京消防庁管内の熱中症による救急搬送は、過去5年間で最大となる7079人となりました。前年(2022年)と比較すると1066人増加しています。

熱中症は、屋内で罹患することも多く、エアコンを適切に使用することが有効な対策となります。

申し入れ項目(要旨) 全文は下QRコードからご覧になれます。

- ①生活保護世帯、高齢者・障がい者・低所得者世帯、ひとり親世帯を対象としたエアコンの購入等の補助制度を創設すること。
- ②上記の世帯を対象にエアコンの電気代の補助制度を検討すること。
- ③生活保護世帯に夏季加算を創設するよう国に要請すること、区独自に支援策を講じること。
- ④保育施設、学校等区立施設に設置されているエアコンについて、老朽化等の状況を把握するために各施設から聞き取り調査を行い、買替、修理、メンテナンス等で適切な室温が維持できるよう対応すること。
- ⑤区立小中学校の給食室をはじめ、全ての居室にエアコン設置を順次進めること。
- ⑥小中学校の断熱化対応については、長寿命化改築の対象校以外の学校施設についても対応を進めること。
- ⑦「熱中症警戒アラート」などの警戒情報を区民に分かりやすく周知するとともに、クーリングシェルターの早期設置と設置場所の設置場所の周知を丁寧に行うこと。
- ⑧グラウンド等、屋外の区立施設の使用について、熱中症予防のためにキャンセルした場合は、施設使用料の徴収や利用制限を行わないこと。



昨年(2023年)6月から9月までの東京消防庁管内の熱中症による救急搬送は、過去5年間で最大となる7079人となりました。前年(2022年)と比較すると1066人増加しています。

熱中症は、屋内で罹患することも多く、エアコンを適切に使用することが有効な対策となります。

一方、電気代の高騰により、エアコンの使用を控えざるを得ない低所得者世帯や、そもそもエアコンを設置することができていない世帯も少なくありません。

申し入れでは、区として低所得者世帯等へのエアコン購入費や電気代の補助、区立施設の既存エアコンの老朽化の調査などを行うことを求めました。

これに対し、区長と環境部長は「非常に重要な指摘と受け止めた。各所管課と連携し、検討していきたい。」と応えました。

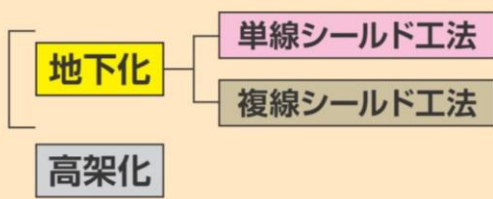
複線シールド工法の検討を求める陳情 都議会で趣旨採択に

5月23日、都議会環境・建設委員会で、下井草駅周辺の住民でつくる「西武新宿線の地下化を求める会」のメンバーが提出した「西武新宿線(野方駅から井荻駅付近)連続立体交差の複線シールド工法検討に関する陳情」が審査され、趣旨採択されました。

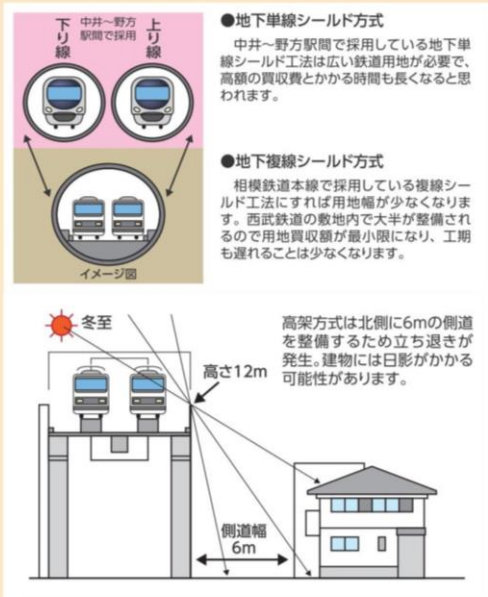
下井草駅周辺まちづくり

陳情では、杉並区が進める下井草駅周辺まちづくり事業の中で、都が実施する西武新宿線の連続立体交差事業の施工形式が高架か地下かによってまちづくりに与える影響は非常に大きい、とし、都がまだ検討していない複線シールド工法による地下化案を示すことを求めています。

鉄道の連続立体交差化には主に以下の工法があります



●シールド方式による違い



共産党都議団は採択を主張

党都議団の青柳委員は、単線シールドと複線シールドを比較し、複線シールドの方が用地買収の面積が減ること(左図参照)、複線シールドの場合も含めて概算事業費を精緻化すべきとし、採択を主張しました。

2月には、杉並・中野の住民で作る「西武新宿線の地下化を求める連絡会」が提出した複線シールド工法の検討を求める陳情が継続審査となっていました。今回の陳情は、継続審査では不十分との判断で、あくまでも杉並区の下井草駅周辺まちづくりの観点から、杉並の会として提出したものです。

他に無所属の委員も採択を主張。自民党の委員も陳情にある複線シールドの検討をしていくものという立場で質疑を行い、趣旨採択となりました。この結果を受け、杉並区はまちづくりに関して、西武新宿線の連続立体交差事業の構造形式を含めた検討を住民とともに進めるべきです。

野垣地域学習会

福島原発事故の今を知りたい

6月2日(日) 13時半～
ウェルファーム杉並 3F

講師 白井剣 弁護士 ▶

参加費 200円

主催 日本共産党清水支部、野垣地域後援会



あきづの部屋

7月7日投票で行われる東京都知事選挙に、立憲民主党の蓮舫参議院議員が出馬を表明。記者会見では、「自民党政治を支えている小池都政は終わらせないといけない」「反自民、非小池都政のオール東京の枠組みで支援いただきたい」と話し、無所属での出馬を明らかにしました。

共産党も参加する「候補者選考委員会」では、蓮舫氏を市民と野党の共同候補として擁立することを決定しました。小池都知事に反対できる候補者として、蓮舫氏の名前は何度もあがっていましたが、都知事選への出馬を決定したことを歓迎します。共産党の都知事選政策は23日に発表しましたが、蓮舫氏の政策も間もなく発表されるようです。住民要求が渦巻いている西武新宿線の地下化や都市計画道路、主な福祉施策などは都の事業です。杉並でもみんなが市民と野党の共闘を盛り上げ、都知事選挙に勝利しましょう!